

「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.27 2015/3/29

第4回 3・11 集会開催



メッセンジャーの岩塚和男先生



県内外から約 130 名が集まりました



ドイツ・インパクトチームの特別賛美



各地区の現状とスタッフと働きの紹介

3月8日（日）の午後、北上聖書バプテスト教会を会場に第4回3.11集会が開催されました。県内外から約130名が参加。東日本大震災後4年の主の守りと導きに感謝し、被災地の状況や課題、各地での宣教の取り組みについて覚え合い、祈るひと時でした。

プログラムの中でメッセージを語って下さったのは、宮古コミュニティ・チャーチの岩塚和男牧師です。宮古の教会は大震災直後、教会が地域に全く必要とされていない事実に気づかされたと言います。震災後の混乱の中にあって教会に助けを求める人が全くいなかったからです。その事実を真摯に反省した教会は、震災後に地域に出て行き、人々の必要に丁寧に向き合い、それに応え、地域からの信頼を少しずつ勝ち得ていきました。そのような関わりを通して教会の集會に集い、救いに導かれる方々も起こされているそうです。

最近「教会を会場に皆で集まりたい」と言ったリクエストが、地域の側から教会に寄せられるようになりました。教会が教会内の内輪の交わりに終始するのではなく、外に出て行き、地域と人々の必要に積極的に応えようとする時、教会は地域への祝福となれることを教えられました。

大震災から4年を経て、被災地では仮設住宅から復興住宅への移動、集約、再統合が進んでいます。新たなる環境や人間関係への適応が求められる中、人々は多くのストレスにさらされています。目に見える部分での復興に比べ、人々の心と魂へのケアは十分になされず、個々の課題は深刻化、複雑化している状況があります。

各地区のスタッフたちは一様に「働き人が足りません」と訴えておりました。被災地の課題に教会が誠実に向き合い、地域の必要に丁寧に応えることができるように、そのために現地の教会と働き人が強められるように、さらに主が必要な働き人を各地に送って下さるように、続けてお祈り下さい。



地域の方々もたくさん集まりました。

三陸のぞみキリスト教会がスタート

3月25日(水)、三陸のぞみキリスト教会の開所式が開かれました。午前はいっぽいっぽ釜石・大槌で記念礼拝が、午後にはいっぽいっぽ山田にてレセプションが開催。レセプションには教会関係者だけでなく、たくさんの地域の方々も集い、教会のスタートを共に祝いました。

教会の名前も、地元の仮設団地に住むあるご婦人の以下のことばから命名されたそうです。「私には望みがない。この町にも望みがない。だから誕生する教会には『のぞみ』が入ってほしい。」地域に開かれた教会として、最初から出発できたことがよく証しされていました。教会がこれから三陸において、キリストののぞみを届けることができますよう、続けてお祈り下さい。



ネットワークの近藤愛哉牧師と小山恒平スタッフが、群馬の星野富弘さん宅を訪問。関係者の方々と相談の時をもちました。

星野富弘さんの詩画展を大船渡で開催します

今年9月20～26日に、大船渡のリアス・ホールにて「星野富弘詩画展」が開催されることになりました。いのちのことば社、グロリアアーツ社、かつて詩画展を開催したことのある相模原宣教ネットワークが背後から支援して下さいます。

開催に際しては大船渡市が協賛して下さいる他、地元の各新聞社、テレビ局なども協賛して下さいる予定になっています。教会が主体となり地域とともに開催する詩画展が祝福されますように、星野富弘さんの詩と絵によって、福音が三陸に伝えられますように、限られた時間の中でなされる準備のためにもお祈り下さい。

10～3月に支援に駆けつけて下さった教会・団体

ユナイテッド・プロジェクト、チャペルこひつじ、ゴスペルトレイン、JECA 中部チーム、インパクト・チーム、EPJM、花巻 OMF 宣教師チーム、センド宣教師チーム、同盟基督教団、酒田教会、Liferay チーム、田園グレースチャペル、札幌希望の丘教会、同盟基督教団信州チーム、前橋キリスト教会、岩手医科大学チーム、岡山聖契チーム、グレースコミュニティ、青森福音キリスト教会、山形小羊キリスト教会、キリスト者学生会、香港チーム、奥多摩バイブルシャレー、バプテスト久慈教会、聖学院大学、JECA 西日本チーム、恵泉キリスト教会、OMF 宣教師チーム、玉川聖学院 OG チーム、合同教会、厚別教会、玉川聖学院、長浜教会、エバンゲリウム・カントライ、宮古コミュニティ・チャーチ、盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みなみ教会、北上聖書バプテスト教会、水沢聖書バプテスト教会
(その他、個人で駆けつけご奉仕下さった方々が多くおられます。)

◇ 宮古コミュニティ・チャーチの震災後における歩みや取り組みをお聞きしながら、また、三陸のぞみキリスト教会の開所式に参加しながら、私たちは大震災を通して、教会と地域との関係を再考するように主から問われたのだと実感しました。被災地では教会の地域に対する取り組みが蓄積され、教会の祝福につながり始めています。4月からは同盟基督教団の岩手宣教プロジェクトが、やはり三陸にて開始される予定です。今後の展開に主の守りと導きがさらに豊かにありますように、続けてお祈り下さい。(W)